

三多摩公立博物館協議会加盟館アクセス一覧

No.	館名	アクセス
1	奥多摩水と緑のふれあい館	JR 青梅線「奥多摩駅」から小河内方面行きバス「奥多摩湖」下車
2	檜原村郷土資料館	JR 五日市線「武蔵五日市駅」から藤倉行きバス「郷土資料館」下車
3	たましん御岳美術館	JR 青梅線「御嶽駅」下車徒歩 20 分
4	青梅市郷土博物館	① JR 青梅線「青梅駅」下車徒歩 15 分 ② JR 青梅線「青梅駅」から都バス「駒木町循環」(梅 77 系統)に乗り、「郷土博物館入口」バス停下車徒歩約 5 分
5	あきる野市五日市郷土館	JR 五日市線「武蔵五日市駅」下車徒歩 17 分
6	羽村市郷土博物館	① JR 青梅線「羽村駅」西口下車徒歩 20 分 ② 東口コミュニティバスはむらん羽村西コース「郷土博物館」下車
7	コニカミノルタサイエンスドーム (八王子市こども科学館)	JR 中央線八王子駅、または京王線「京王八王子駅」からバス「サイエンスドーム」下車、徒歩 2 分
8	八王子市郷土資料館	① JR 中央線「八王子駅」南口から徒歩 15 分 ② JR 中央線「八王子駅」南口からバス「東京家政学院」行き、「上野町三丁目」下車徒歩 3 分
9	集合住宅歴史館 (独立行政法人 都市再生機構)	① JR 八高線「北八王子駅」下車徒歩 10 分 ② JR 八王子駅より大和田、東海大学病院経由宇津木台行「ケンウッド前」下車徒歩 5 分
10	福生市郷土資料室	JR 青梅線「牛浜駅」東口下車徒歩 7 分
11	瑞穂町郷土資料館 (けやき館)	JJR 八高線「箱根ヶ崎駅」下車徒歩 20 分
12	武蔵村山市立歴史民俗資料館	多摩モノレール「上北台駅」から武蔵村山市内循環バス三ツ木地区会館行き「かたくりの湯」下車徒歩 1 分
13	立川市歴史民俗資料館	① JR 中央線「立川駅」南口から新道福島行き・富士見町操車場行きバス「団地西」下車、徒歩 5 分② JR 中央線「立川駅」南口から立川駅北口行きバス「農業試験場前」下車、徒歩 5 分③ JR 青梅線「西立川駅」下車、徒歩 20 分
14	日野市郷土資料館	① 多摩モノレール・京王線「高幡不動駅」から百草団地方面バス「高幡台団地」下車徒歩 5 分 ② モノレール「程久保」下車徒歩 7 分
15	首都大学東京 91 年館	京王相模原線「南大沢駅」下車徒歩約 5 分
16	帝京大学総合博物館	① 多摩モノレール「大塚・帝京大学」駅下車徒歩 15 分 ② 京王線「聖蹟桜ヶ丘」駅、「高幡不動」駅、「多摩センター」駅より京王バス「帝京大学構内」行きに乗りし終点にて下車
17	東大和市立郷土博物館	西武拝島線「東大和市駅」から西武バス「イオンモール」行きで「八幡神社」、または都営バス「青梅車庫」行で「八幡神社前」下車徒歩 2 分
18	東村山ふるさと歴史館	西武新宿・国分寺・西武園線「東村山駅」西口下車徒歩 8 分
19	国立ハンセン病資料館	① 西武池袋線「清瀬駅」南口から西武バス「久米川駅北口行」で約 10 分 ② 「久米川駅」北口から西武バス「清瀬駅南口行」で約 20 分 (いずれも「ハンセン病資料館」で下車)
20	くにたち郷土文化館	JR 南武線「矢川駅」下車徒歩 8 分
21	たましん歴史・美術館	JR 中央線「国立駅」南口前
22	パルテノン多摩歴史ミュージアム	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩 5 分
23	東京都立埋蔵文化財調査センター	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩 5 分
24	町田市立博物館	小田急線・JR 横浜線「町田駅」より町田バスセンター 11 番乗場発「藤の台団地」「鶴川団地」「鶴川駅」行きバス「市立博物館前」下車徒歩 7 分
25	府中市郷土の森博物館	京王線・JR 武蔵野線「分倍河原駅」から京王バス「郷土の森総合体育館」行き、「郷土の森正門前」下車すぐ
26	小金井市文化財センター	JR 中央線「武蔵小金井駅」北口もしくは「東小金井駅」からココバス北東部循環⑬「小金井公園入口」下車徒歩 5 分
27	江戸東京たてももの園	① JR 武蔵小金井駅北口バス 2 番 3 番停留所より「小金井公園西口」下車徒歩 5 分② 西武新宿線花小金井駅南口よりバス「南花小金井」(小金井街道沿い) 停留所より「武蔵小金井駅」行、「小金井公園西口」下車徒歩 5 分
28	東京農工大学科学博物館	JR 中央線「東小金井駅」南口下車徒歩 9 分
29	清瀬市郷土博物館	① 西武池袋線「清瀬駅」北口下車徒歩 10 分 ② 駅北口バス乗り場 1 番から西武バス「郷土博物館入口」下車徒歩 1 分
30	多摩六都科学館	① 西武新宿線「花小金井駅」北口下車徒歩 18 分 ② 西武新宿線「花小金井駅」「田無駅」北口よりはなバス第 4 北ルート多摩六都科学館下車
31	調布市郷土博物館	京王相模原線「京王多摩川駅」下車徒歩 4 分
32	国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館	① 中央線三鷹駅南口または武蔵境駅南口より小田急バス国際基督教大学行にて終点下車 ② 武蔵境駅からタクシーで 10 分
33	武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館	① JR 中央線・西武多摩川線「武蔵境駅」より徒歩 12 分 ② 武蔵境駅北口よりムーバス境西循環に乗りし、4 番「武蔵野ふるさと歴史館」下車すぐ
34	狛江市立古民家園 (愛称: むいから民家園)	① 小田急線狛江駅または和泉多摩川駅より徒歩 10 分 ② 狛江駅北口より「多摩川住宅」行きバスまたは「こまバス」(北回り)で「児童公園」バス停前

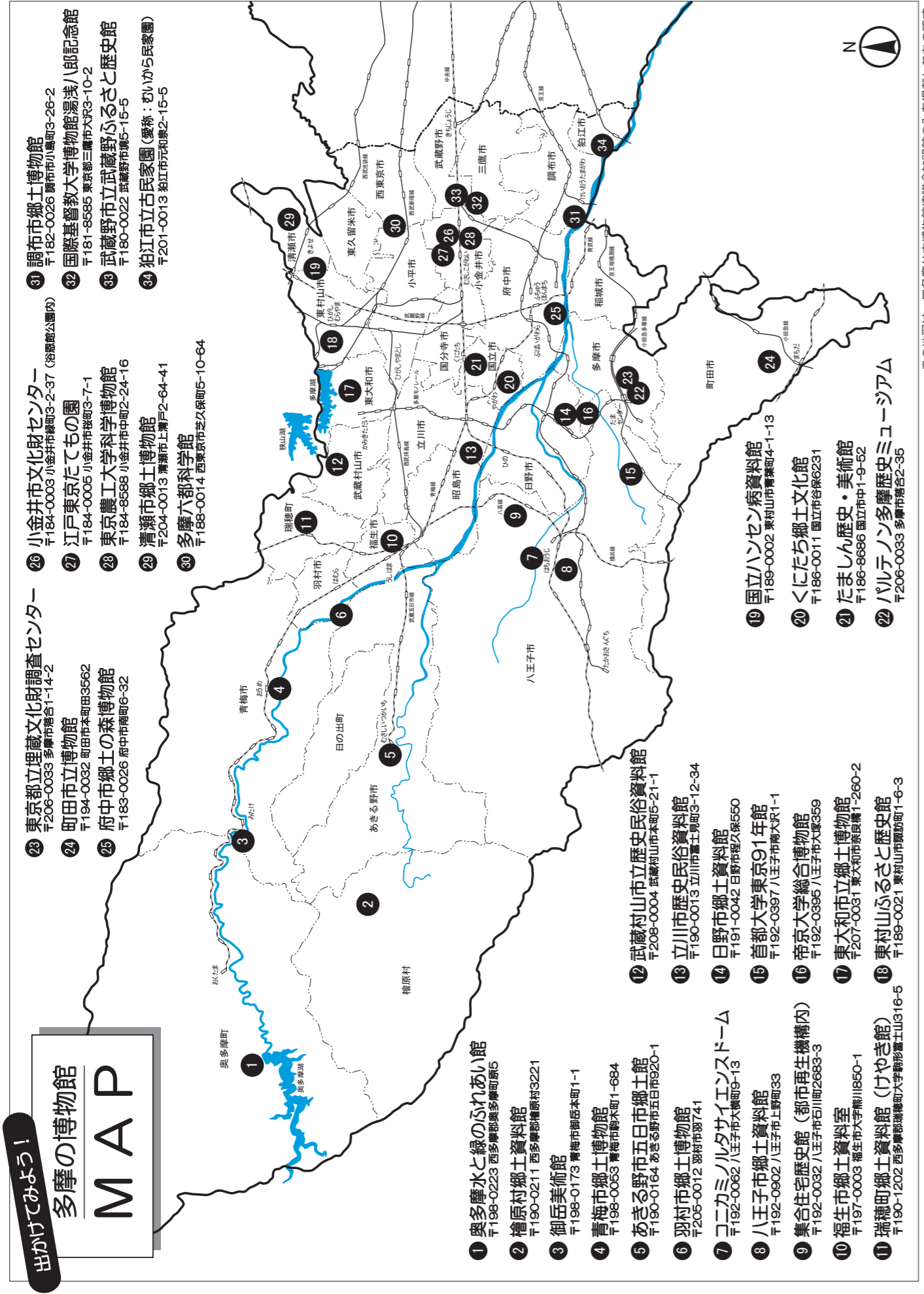
催し物案内2018年度春・夏号

2018年4月～9月

多摩の博物館さんぽ



東京都三多摩公立博物館協会公式サイト「多摩の博物館に行こう」(<http://tamahaku.jp>)では、新しい情報を公開しています。  
「多摩の博物館さんぽ」とあわせて、ご活用ください。  
多摩地域の博物館をめぐってみませんか!



出かけてみよう！  
**多摩の博物館**  
**MAP**

- 23 東京都立埋蔵文化財調査センター  
〒206-0033 多摩市落合1-14-2
- 24 町田市立博物館  
〒194-0032 町田市本町田3562
- 25 府中市郷土の森博物館  
〒183-0026 府中市南町6-32
- 26 小金井市文化財センター  
〒184-0003 小金井市緑町3-2-37 (清瀬公園内)
- 27 江戸東京たてもの園  
〒184-0006 小金井市祝町3-7-1
- 28 東京農工大学科学博物館  
〒184-8588 小金井市中町2-24-16
- 29 清瀬市郷土博物館  
〒204-0013 清瀬市上瀬戸2-64-41
- 30 多摩六都科学館  
〒188-0014 西東京市芝久保町5-10-64
- 31 調布市郷土博物館  
〒182-0026 調布市小園町3-26-2
- 32 国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館  
〒181-8585 東京都三鷹市大塚3-10-2
- 33 武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館  
〒180-0022 武蔵野市溝5-15-5
- 34 狛江市立古民家園 (愛称：むいから民家園)  
〒201-0013 狛江市元和家2-15-5
- 1 奥多摩水と緑のふれあい館  
〒198-0223 西多摩郡奥多摩町原5
- 2 檜原村郷土資料館  
〒190-0211 西多摩郡檜原村3221
- 3 御岳美術館  
〒198-0173 青梅市御岳本町1-1
- 4 青梅市郷土博物館  
〒198-0053 青梅市野木町1-684
- 5 あきる野市五日市郷土館  
〒190-0164 あきる野市五日市920-1
- 6 羽村市郷土博物館  
〒205-0012 羽村市羽741
- 7 コカミナルタサイエンスドーム  
〒192-0062 八王子市大橋町9-13
- 8 八王子市郷土資料館  
〒192-0602 八王子市上野町33
- 9 集合住宅歴史館 (都市再生機構内)  
〒192-0032 八王子市石川町2663-3
- 10 福生市郷土資料室  
〒197-0003 福生市大字瀬川1850-1
- 11 瑞穂町郷土資料館 (げやき館)  
〒190-1202 西多摩郡瑞穂町大字駒形富士1316-5
- 12 武蔵村山市立歴史民俗資料館  
〒208-0004 武蔵村山市本町15-21-1
- 13 立川市歴史民俗資料館  
〒190-0013 立川市富士見町3-12-34
- 14 日野市郷土資料館  
〒191-0042 日野市歴久保560
- 15 首都大学東京91年館  
〒192-0397 八王子市南大沢1-1
- 16 帝京大学総合博物館  
〒192-0396 八王子市大塚359
- 17 東大和市立郷土博物館  
〒207-0031 東大和市赤坂南1-280-2
- 18 東村山ふるさと歴史館  
〒189-0021 東村山町駒形町1-6-3
- 19 国立ハンセン病資料館  
〒189-0002 東村山町青葉町4-1-13
- 20 くにおだち郷土文化館  
〒186-0011 国立市谷保6231
- 21 たましん歴史・美術館  
〒186-8686 国立市中1-9-52
- 22 パルノン多摩歴史ミュージアム  
〒206-0033 多摩市落合2-35
- 29 羽村市  
30 国分寺市  
31 調布市  
32 三鷹市  
33 武蔵野市  
34 狛江市

この地図は、三多摩公立博物館協議会加盟館のみを掲載したものです。

**31 調布市郷土博物館** 原始古代から近代までの調布の歴史をたどる。

開館時間	9:00 ~ 16:00	休館日	月曜日 (祝日の場合は翌日) 12.29 ~ 1.3	入館料	無料	☎	042-481-7656
------	--------------	-----	-------------------------------	-----	----	---	--------------

※資料整理等のため、春季は1階企画展示室を閉室しています。2階常設展示室は通常どおり開室しています。  
 ●企画展「コレクション資料展 (仮)」(7.7 ~ 9.24)  
 鉱物・化石などのコレクション資料を展示します。  
 【URL】 <http://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1176118850606/index.html>

**32 国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館**  
 初代学長・湯浅八郎の民藝コレクションと、キャンパスから出土した考古資料を所蔵する大学博物館。

開館時間	10:00 ~ 17:00 (土曜日は16:30まで)	休館日	日曜・月曜・祝日・3月、7月の土曜日・ 展示準備期間 (特別展開催期間外)・ 夏期休暇中および年末年始	入館料	無料	☎	0422-33-3340
------	-----------------------------	-----	---	-----	----	---	--------------

●特別展「携帯の形・ひらく弁当箱」(4.10 ~ 7.6)  
 当館所蔵の木工資料や漆工品より、収納方法に工夫が施された提重や弁当箱などを展示いたします。  
 ●第104回公開講座「立体の形・模様的美」(5.26 要予約) 講師：清水勇二氏 (国際基督教大学教授)  
 ●特別展「松浦武四郎生誕200年記念 ICUに残る一畳敷」(9.11 ~ 11.9) ICU構内に残る国登録有形文化財のひとつ、武四郎が晩年に建てた書齋「一畳敷」に焦点を当てます。  
 【URL】 [http://subsites.icu.ac.jp/yuasa\\_museum/index.html](http://subsites.icu.ac.jp/yuasa_museum/index.html)

**33 武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館**  
 武蔵野市の歴史と文化を育む、「博物館」と「公文書館」の機能を持った施設です。

開館時間	9:30 ~ 17:00	休館日	金曜・祝日・年末年始	入館料	無料	☎	0422-53-1811
------	--------------	-----	------------	-----	----	---	--------------

●企画展「武蔵野のうどん (仮)」(5.19 ~ 7.19)  
 武蔵野市域におけるうどんは様々な年中行事、人生儀礼の場で登場する儀礼食として位置づけることができます。本展ではこうしたうどんを調理する際に用いた様々な民俗資料や歴史資料、また撮影した写真などから「武蔵野のうどん」の実態に迫ります。  
 ●企画展「武蔵野の考古学 (仮)」(7.28 ~ 9.27)  
 昭和37年に武蔵野市史編纂事業からはじまった武蔵野の考古学調査の歴史、成果について市内出土資料を中心に展示します。  
 【URL】 [http://www.city.musashino.lg.jp/kurashi\\_guide/shogaigakushu\\_koza/rekishikan/](http://www.city.musashino.lg.jp/kurashi_guide/shogaigakushu_koza/rekishikan/)

**34 狛江市立古民家園 (愛称：むいから民家園)**  
 文化財の古民家で、年中行事の展示や体験学習など、狛江の歴史や民俗を学べます。

開館時間	9:30 ~ 16:30	休館日	月曜日 (休日にあたるときはその翌開園日)、年末年始 (12.28 ~ 1.4)	入館料	無料	☎	03-3489-8981
------	--------------	-----	--	-----	----	---	--------------

【URL】 <http://www.komae.ed.jp/index.cfm/12,0,60,html>

<b>26</b>	<b>小金井市文化財センター</b> 小説『次郎物語』の舞台で、小金井の歴史と文化をたどる。					
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、12.29～1.3、館内整備のための臨時休館日	入館料	無料	☎ 042-383-1198
<ul style="list-style-type: none"> <li>●当館は作家下村湖人が青年団講習所の所長として講習生と語り、小説『次郎物語』の構想を練った浴恩館を改修して資料館としたものです。市内の考古資料・古文書・民具をもとに、小金井市のあゆみや生活について常設展示しています。</li> <li>●季節展「名勝 小金井桜」(～5.27)</li> </ul> <p style="text-align: right;">【URL】<a href="http://tamahaku.jp/kojin/">http://tamahaku.jp/kojin/</a></p>						

<b>27</b>	<b>江戸東京たてもの園</b> 江戸東京の歴史的建造物を移築し、復元・保存・展示するとともに、文化遺産として次代に継承することを目指した野外博物館。					
開園時間	4月～9月: 9:30～17:30 (入園は17:00まで)	休園日	月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始(12.25～1.1)	入園料	大人400円、中(都外)高生200円、大学生320円、65才以上の方200円、小中(都内)無料	☎ 042-388-3300
<ul style="list-style-type: none"> <li>●展示室 東京150年記念「看板建築展」(～7.8)、東京150年記念「東京の住まいと暮らし」(仮)(7.24～31.1.20)</li> <li>●春夏の催し「こどもの日イベント」(5.4・5)、「七夕のつどい」(7.7・8)、「下町夕涼み」(8.4・5)、網島家の年中行事～梅漬け・土用干し(6月中旬～8月土用の頃)、盆棚の展示(7月中旬)、十五夜飾り(9月下旬頃)、「ちょっと涼しいたてもの園」(7.24～9.2頃)</li> <li>●定例の催し ミュージアムトーク(第4土曜日)、伝統工芸の実演(第2土曜日と翌日曜日)</li> </ul> <p style="text-align: right;">【URL】<a href="http://www.tatemonoen.jp/">http://www.tatemonoen.jp/</a></p>						

<b>28</b>	<b>東京農工大学科学博物館</b> 繊維に関する資料の展示や、本学の教育研究活動を紹介。繊維技術研究会や友の会による活動も盛ん。					
開館時間	10:00～17:00(入館は16:00まで)	休館日	日曜・月曜・祝日、5月31日(創立記念日)、年末年始等	入館料	常設展無料	☎ 042-388-7163
【URL】 <a href="http://www.tuat.ac.jp/~museum/">http://www.tuat.ac.jp/~museum/</a>						

<b>29</b>	<b>清瀬市郷土博物館</b> 清瀬の歴史と民俗。伝承スタジオでは体験学習も。					
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.29～1.3	入館料	無料	☎ 042-493-8585
<ul style="list-style-type: none"> <li>●展示「清瀬の富士講—清瀬から富士に登った人々—」(8.11～9.2)、「第34回清瀬美術館展」(9.11～17)</li> <li>●事業 自然観察会(4.22)、春のコンサート(6月)、博物館で宿泊体験(8.23～24)、邦楽コンサート(9.29)</li> <li>●先人の知恵に学ぶシリーズ 柏餅作り講習会(5.17)、清瀬のうどん作り講習会(6.10)、ゆで饅頭作り講習会(9.9)、初夏の染物教室(6月)、はたおり講習会(7月)、秋の染物教室(9月)</li> <li>●講座 歴史講座(5～7月)</li> </ul> <p style="text-align: right;">【URL】<a href="http://www.city.kiyose.lg.jp/">http://www.city.kiyose.lg.jp/</a></p>						

<b>30</b>	<b>多摩六都科学館</b> 世界一に認定されたプラネタリウムと5つの展示室がある参加体験型の科学館。					
開館時間	9:30～17:00(入館は16:00まで)	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日、その他機器整備の休館あり(4.10～12、17～19、5.8～10、9.4～6)	入館料	大人500円、小人(4歳～高校生)200円 ※年間パスあり プラネタリウム、大型映像は別料金	☎ 042-469-6100
<ul style="list-style-type: none"> <li>●春の特別企画展「たまるく水辺の案内所」(～5.6) 多摩六都科学館のある北多摩地域には、どんな川があるのかな?川の歴史や生き物などを紹介します。知るときっと行ってみたいくなる!</li> <li>●生解説プラネタリウム「ねこ座はどこへいった?～忘れ去られた星座たち～」(～5.6)、「小惑星ってどんな星?」(5.11～7.20)</li> <li>●大型映像「ポラリス」(～7.16)、「HAYABUSA2 -RETURN TO THE UNIVERSE-」(5.11～終了未定)</li> </ul> <p style="text-align: right;">【URL】<a href="https://www.tamarokuto.or.jp">https://www.tamarokuto.or.jp</a></p>						

<b>1</b>	<b>奥多摩水と緑のふれあい館</b> 水源林の役割と自然、奥多摩の歴史・文化を紹介。					
開館時間	9:30～17:00	休館日	水曜日(祝日の場合は翌日) 12.28～1.4	入館料	無料	☎ 0428-86-2731
<ul style="list-style-type: none"> <li>●奥多摩の自然とダムの仕組みや水の大切さなどを紹介し、東京都の水源である奥多摩町と水道を利用する都市住民とのふれあいの場として、奥多摩町の歴史・文化・郷土芸能・地場産業等の紹介及び展示映像等で分かりやすく紹介している。</li> <li>●春の奥多摩ミニコンサート(4.14・15)12時～、13時30分～ ソプラノ歌手による歌と演奏</li> <li>●水道週間(6.1～7)※(6.6)は臨時開館 10時～16時 アンケート調査、記念品の配布</li> <li>●夏のフラダンスショー(7.28)11時30分～、13時30分～の2回公演 フラダンスショー</li> <li>●ダム写真展(8.2～31)小河内ダム関連の写真展 ●水源地郷土芸能公演(9.9)12時～14時30分ころ 獅子舞・鹿島踊</li> </ul> <p style="text-align: right;">【URL】<a href="http://www.okutama.gr.jp/">http://www.okutama.gr.jp/</a></p>						

<b>2</b>	<b>檜原村郷土資料館</b> 数馬の民家や、檜原の歴史・民俗・自然を展示。					
開館時間	4月～11月9:30～17:00 12月～3月10:00～16:00	休館日	火曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始	入館料	無料	☎ 042-598-0880
<ul style="list-style-type: none"> <li>●常設展「自然と観光」「歴史と民俗」</li> <li>●特別展「夏休み昆虫標本展」(7.22～8.31) 檜原村に生息する昆虫の標本を展示します。</li> <li>●特別展「檜原村野鳥写真展」(2.10～3.10) 檜原村に生息する野鳥の写真約30点を展示します。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【URL】<a href="http://www.vill.hinohara.tokyo.jp/000000019.html">http://www.vill.hinohara.tokyo.jp/000000019.html</a></p>						

<b>3</b>	<b>たましん御岳美術館</b> 明治・大正・昭和にいたる近代日本の美術品を展示。					
開館時間	10:00～16:30(11月～3月は16:00まで)	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始	入館料	一般500円、高大生400円、中学生300円	☎ 0428-78-8814
<ul style="list-style-type: none"> <li>●平成29年度たましん御岳美術館後期展示「武者小路実篤と白樺派の画家たち」(～5.13) 常設展示 日本近代彫刻の魁 新宿中村屋の作家たち—荻原守衛、中原悌二郎、高村光太郎など 倉田三郎記念室 倉田三郎 旅の素描—フランス—</li> <li>●ギャラリートーク(4.14・5.12)11:00～・13:00～ 作品について30分程度、ご案内いたします。</li> <li>●スケッチの日「桜の日」(4.10・11)※雨天決行 開催時間10:00～15:30(受付は15:00まで) 御岳渓谷の風景を楽しみながらスケッチしませんか?画材は無料で貸出します。初めての方もお気軽にご参加ください。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【URL】<a href="http://www.tamashin.or.jp/mitake.html">http://www.tamashin.or.jp/mitake.html</a></p>						

<b>4</b>	<b>青梅市郷土博物館</b> 青梅の自然や歴史、民俗、産業に関する資料を展示。					
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌平日) 12.29～1.3	入館料	無料	☎ 0428-23-6859
<ul style="list-style-type: none"> <li>●収蔵品展「なんだこれ?—昔の道具展—」(～4.15) 博物館で収蔵している、見た目では何かわからない品を展示・紹介します。</li> <li>●企画展「明治時代の青梅—近代化と人々の生活—」(4.24～7.8) 明治維新150年を記念し、明治時代における青梅の人々の暮らしや歴史上の出来事について紹介します。</li> <li>●企画展「青梅の板碑(仮称)」(7.21～10.8) 青梅市に数多く残されている板碑の特色などについて、実物や写真・拓本などを用いて紹介します。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【URL】<a href="http://www.ome-kyo.ed.jp/shakai/kyodo/index.html">http://www.ome-kyo.ed.jp/shakai/kyodo/index.html</a></p>						

<b>5</b>	<b>あきる野市五日市郷土館</b> 五日市の歴史・民俗・自然。五日市憲法関係資料を展示。					
開館時間	9:30～16:30	休館日	火、水曜日、祝日(水曜日が祝日の場合は翌日も)、年末年始	入館料	無料	☎ 042-596-4069
<ul style="list-style-type: none"> <li>●常設展示 五日市郷土館では、歴史・生活・民俗芸能・自然・化石などの展示のほか、五日市憲法草案や日本で初めてナイチンゲール記章を受賞した萩原タケの功績を紹介しています。また、敷地内にある旧市倉家住宅では、年中行事展示(五月人形、鯉のぼり、七夕)を行います。</li> <li>●ミニ企画展 郷土の古文書 その27「疫病神(やくびょうがみ)の詫び証文」(～4.30)</li> </ul> <p style="text-align: right;">【URL】<a href="http://www.city.akiruno.tokyo.jp/0000001285.html">http://www.city.akiruno.tokyo.jp/0000001285.html</a></p>						

<b>6</b>	<b>羽村市郷土博物館</b> 羽村の歴史と文化。玉川上水と中里介山に関する資料を展示。					
開館時間	9:00～17:00(旧下田家住宅は9:00～16:00)	休館日	月曜日(祝日の場合は開館) 12.29～1.3	入館料	無料	☎ 042-558-2561
<ul style="list-style-type: none"> <li>●企画展「こいのぼりと五月人形」(3.24～5.13) ●企画展「鳥を楽しむ—描く、あそぶ—」(5.26～9.2)</li> <li>●ミニ展示「玉川上水を調べよう」(6.16～12.16) ●季節展示「七夕かざり」(6.23～7.8)</li> <li>●ミニ展示「まゆと私たちの暮らし」(8.4～8.31) ●特別展「お札・お守り」(仮)(9.15～12.23)</li> <li>●季節展示「お月見かざり」(9.22～9.30)</li> </ul> <p style="text-align: right;">【URL】<a href="http://www.city.hamura.tokyo.jp/0000005474.html">http://www.city.hamura.tokyo.jp/0000005474.html</a></p>						

<b>7</b>	<b>コニカミノルタ サイエンスドーム（八王子市こども科学館）</b> 平成 29 年 7 月リニューアルオープン。プラネタリウムと「遊び科学」「宇宙」などの参加体験型の展示。
開館時間	10:00～17:00（ただし火～金曜 9:00～12:00 は事前予約団体専用）
休館日	月曜日、祝日の翌日、年末年始など（夏休み期間は無休）
入館料	大人 200 円、4 歳～中学生 100 円（プラネタリウム料金別）
☎	042-624-3311
<p>昨年 7 月リニューアルオープンしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●新しい展示は、1 階は「遊びカガク」のコンセプトで、小さなお子さんでも体験できる展示物とカブラのコーナー。2 階は「宇宙」と「八王子」をテーマに、シミュレーション「国際宇宙ステーションのミッションに挑戦」、小惑星探査機はやぶさのシミュレーター、地球や月、惑星などの表面を球体に映す 4 次元デジタル地球儀、市内で発掘された 230 万年前のハチオウジゾウの化石（レプリカ）、200 年前の江戸時代に落下した八王子隕石のパネル展示など。</li> <li>●プラネタリウムでは月に一度、土曜日の夜に投影する「トワイライトプラネタリウム」、第四日曜日午後 3 時 50 分～は解説員による「全編生解説プラネタリウム」も好評。4.7～「ポケットモンスター サン&amp;ムーン」を投影。</li> <li>●土日祝には親子で楽しめる「工作教室」「実験ショー」などを開催。 ●夏休み期間中は講座等のイベントを多数開催。</li> </ul> <p>【URL】<a href="http://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisetsu/003/p011705.html">http://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisetsu/003/p011705.html</a></p>	

<b>8</b>	<b>八王子市郷土資料館</b> 八王子の歴史と民俗を紹介。車人形や機織の体験も。
開館時間	9:00～17:00
休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）、祝日の翌日、年末年始、その他館内整理日
入館料	無料
☎	042-622-8939
<ul style="list-style-type: none"> <li>●維新 150 年企画展 「八王子と明治維新―黒船来航から士族反乱まで―」（4.3～5.27）西郷隆盛率いる不平士族の反乱に参加した八王子出身の志士や、富国強兵のスローガンのもとで新しい八王子の町づくりに奔走した人びとの史料を展示します。</li> <li>●企画展「新収蔵展～未来への贈り物～」（前期）（4.28～11.25）平成 29 年度に資料館に寄贈された資料を展示します。</li> <li>●企画展「戦争と八王子」（7.21～9.24）八王子における戦争史料の展示を行います。</li> </ul> <p>【URL】<a href="http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kankobunka/003/005/p005312.html">http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kankobunka/003/005/p005312.html</a></p>	

<b>9</b>	<b>集合住宅歴史館</b> （独立行政法人 都市再生機構） 歴史的に価値の高い集合住宅を移築復元して展示。
開館時間	13:30～16:30
休館日	土・日曜日、祝日、年末年始
入館料	無料 ※事前予約制
☎	042-644-3751
<ul style="list-style-type: none"> <li>●関東大震災復興のため建設された“同潤会代官山アパート”、戦後の住宅不足解消のため建設された“公団住宅”の一部を移築復元。実際に住戸の中に入ってご覧いただけます。</li> <li>●展示内容 同潤会代官山アパート：“独身住戸”、“世帯住戸”、公団住宅：“蓮根団地 2DK”、“晴海高層アパート廊下階住戸”、“晴海高層アパート非廊下階住戸”、“多摩平団地テラスハウス”、“住宅設備の変遷”など</li> <li>●見学方法 事前予約制のため予め電話・ホームページで申込みください。</li> </ul> <p>【URL】<a href="http://www.ur-net.go.jp/rd/">http://www.ur-net.go.jp/rd/</a></p>	

<b>10</b>	<b>福生市郷土資料室</b> 福生を中心とした多摩の歴史・民俗・自然を紹介しています。膳枕倉の復元展示も行っています。
開館時間	10:00～17:00
休館日	毎週月曜日（祝日の場合は翌日休館）、年末年始
入館料	無料
☎	042-530-1120
<ul style="list-style-type: none"> <li>●企画展示 「旧ヤマジウ田村家住宅資料展」（4.21～7.8）ヤマジウ田村家は、明治 35 年に田村酒造を営む田村家の分家として興り、通信事業などに携わっていました。平成 25 年に住宅、土蔵、民具及び古文書等が市に寄贈され、平成 26 年度には主屋、西土蔵及び東土蔵が国登録有形文化財（建造物）として登録されています。本企画展示では、平成 26～28 年度に実施した文化財総合調査の結果に基づき、建造物としての旧ヤマジウ田村家住宅の特徴や、明治から昭和初期の民具や文書を公開します。関連講座 「建築様式からみる旧ヤマジウ田村家住宅」（6.17）／「旧ヤマジウ田村家住宅の民具たち」（6.24）事前申込制 詳しくは HP で御確認ください。</li> <li>●企画展示 「平和のための戦争資料展」（仮）（7.14～9.17）除隊記念に配布した盃や盆など、戦争に関連する記念品を中心とした展示をおこないます。</li> </ul> <p>【URL】<a href="http://www.museum.fussa.tokyo.jp">http://www.museum.fussa.tokyo.jp</a></p>	

<b>11</b>	<b>瑞穂町郷土資料館（けやき館）</b> 瑞穂町の歴史・自然・民俗資料を展示。囲炉裏端のある民家を再現した「瑞穂の民家」もあります。
開館時間	10:00～21:00
休館日	第 3 月曜日（祝日の場合は開館し、翌日休館）、年末年始（12.29～1.3）、臨時休館日
入館料	無料
☎	042-568-0634
<ul style="list-style-type: none"> <li>●企画展「みずほの花図鑑～早春から初夏にかけて～」（4.14～6.10）瑞穂町には様々な植物が自生し、春から初夏にかけて色とりどりの花が見られます。本展示では身近な植物を 100 点ほど紹介し、名前の調べ方や人との関わりを解説します。</li> <li>●企画展「瑞穂の旧石器～発見！石器づくりの先端技術～」(7 月～9 月予定) 瑞穂町では、開発などにより旧石器時代の様々な資料が発見され、数多くの新たな発見が得られています。旧石器時代の主要な道具である石器について、石器毎の特徴や作られた技術に注目して展示します。</li> </ul> <p>【URL】<a href="http://mizuhokyodo.jp">http://mizuhokyodo.jp</a></p>	

<b>22</b>	<b>パルテノン多摩歴史ミュージアム</b> 多摩丘陵と多摩ニュータウンの開発の歴史を展示する。
開館時間	10:00～18:00
休館日	不定休（4.18・19、5.16・17、6.13・14、7.10～12、8.15・16、9.5・6）
入館料	無料
☎	042-375-1414
<ul style="list-style-type: none"> <li>●吹田市立博物館&amp;パルテノン多摩歴史ミュージアム連携展示「ニュータウン誕生」（～5.27）ニュータウンは、どのように計画され、人々はどのように生活を組み立て、現在に至るのでしょうか。吹田市立博物館と連携して、日本初の「千里ニュータウン」と、日本最大規模の「多摩ニュータウン」の事例をもとに「ニュータウン」を振り返ります。</li> <li>●4 階廻廊展示「定点撮影プロジェクト写真展～多摩の商店 いま・むかし～」(～4.22) 多摩の商店の今昔を比較した写真を展示します。</li> <li>●4 階廻廊展示「定点撮影プロジェクト写真展～建物ウォッチング～」(4.24～) 多摩ニュータウンの様々な団地の建物写真と、帝京大学ソラティオ スクエア屋上から撮影した多摩ニュータウンの風景写真を展示します。</li> <li>●みんなの植物観察会（4.10、5.15、6.12、9.11）</li> <li>●古文書講座初級コース（秋を予定）、中級コース（冬を予定）</li> </ul> <p>※講座の詳細は当館ホームページでご確認ください。</p> <p>【URL】<a href="http://www.parthenon.or.jp/museum/">http://www.parthenon.or.jp/museum/</a> 【ツイッター】<a href="http://twitter.com/par_tama_museum">http://twitter.com/par_tama_museum</a> 【Facebook】<a href="https://www.facebook.com/25thparthenon">https://www.facebook.com/25thparthenon</a></p>	

<b>23</b>	<b>東京都立埋蔵文化財調査センター</b> 多摩丘陵の埋蔵文化財を展示。遺跡庭園「縄文の村」を併設。東京都埋蔵文化財センターが管理運営。
開館時間	9:30～17:00
休館日	12.29～1.3（年末年始）3.12～3.20（展示替え）
入館料	無料
☎	042-373-5296
<ul style="list-style-type: none"> <li>●縄文ワクワク体験まつり（5.3・4）</li> <li>●古代布作り教室①（5.12 午前）</li> <li>●トンボ玉作り教室①（5.26）</li> <li>●コハク勾玉作り①（6.2 午前）</li> <li>●古代糸作り教室（6.16）</li> <li>●第 1 回文化財講演会（6.30 午後）</li> <li>●縄文アクセサリー作り教室①（7.7 午前）</li> <li>●親子縄文土器作り教室（① 7.21 ② 7.22）野焼き（8.11）</li> <li>●夏休み親子体験教室（① 7.25 ② 8.15 ③ 8.22）</li> <li>●ワークショップ「縄文パクパクをつくろう！」①・②（8.4 午前・午後）</li> <li>●縄文土器作り教室③（9.1・2）野焼き（9.22）</li> <li>●縄文の貝輪作り教室（9.8 午後）</li> <li>●第 2 回文化財講演会（9.29 午後）</li> </ul> <p>【URL】<a href="https://www.tef.or.jp/maibun/">https://www.tef.or.jp/maibun/</a></p>	

<b>24</b>	<b>町田市立博物館</b> 考古・民俗から陶磁器・ガラス器等の美術工芸品まで。
開館時間	9:00～16:30
休館日	月曜日（祝日の場合開館、翌日休館）、館内整理期間（5.7～7.13）、展示替期間
入館料	一般 300 円※中学生以下無料、障がい者半額
☎	042-726-1531
<ul style="list-style-type: none"> <li>●「小瀧千佐子コレクション 旅するヴェネチアン・ビーズ ―16 世紀のアフリカトレード・ビーズから 20 世紀のコスチューム・ジュエリーまで―」（～5.6）ヴェネチアン・ビーズで作られたアクセサリー等約 120 点を展示し、ヴェネチアン・ビーズの歴史と魅力を伝えます。</li> <li>●町田市制 60 周年記念事業 「まちだ今昔～時空を超えた対話；縄文ムラと商都～」(7.14～9.17) 町田市の埋蔵文化財調査の歩みと、商都として発展していく 町田と、変わらずに継承されていく年中行事とを紹介しします。</li> <li>●「博物画家・天木茂晴の世界」（9.29～11.25）教科書や児童科学雑誌の挿絵を手がけた博物画家 天木茂晴の原画を中心に、美しい理科系挿絵美術の世界を紹介しします。</li> </ul> <p>【URL】<a href="http://www.city.machida.tokyo.jp/">http://www.city.machida.tokyo.jp/</a> 【twitter】<a href="https://twitter.com/machida_museum">https://twitter.com/machida_museum</a></p>	

<b>25</b>	<b>府中市郷土の森博物館</b> 府中市の歴史・民俗・自然。プラネタリウム、古民家も。
開館時間	9:00～17:00（入場は 16:00 まで）
休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12.29～1.3）、臨時休館
入館料	【～4.30】大人 200 円、4 歳～中学生 100 円 【5.1～】大人 300 円、4 歳～中学生 150 円
☎	042-368-7921
<ul style="list-style-type: none"> <li>●5 月 2 日からプラネタリウムと天文展示コーナーがリニューアルオープンします。</li> <li>●ミニ展「府中の博物館 50 年」（4.1～12.2）府中市最初の博物館「市立郷土館」が出来てから半世紀を記念し、郷土館に関する資料や 50 年前の世相を紹介します。</li> <li>●企画展「田村智久写真展 花の森八景」（4.7～6.24）府中市郷土の森博物館に魅せられた写真家・田村智久氏がライフワークとして撮り続けている写真を展示します。</li> <li>●特別展「水とともにくらしむかし（仮称）」(7.21～9.2) 多摩川や用水、井戸など、府中の人々が営んできた水とくらしとの関わりを紹介します。</li> <li>●東京都埋蔵文化財センター・府中市郷土の森博物館共同事業 企画展「東京最古の旧石器」（7.7～10.28）東京都内最古級の 3 万 5000 年前の石器群を多量に出土した遺跡として知られている府中市武蔵台遺跡の旧石器を、最新の調査成果をまじえて紹介します。</li> <li>●あじさいまつり（5.26～7.8）園内の古民家とあじさいのコラボレーションをお楽しみください。</li> </ul> <p>【URL】<a href="http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/index.html">http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/index.html</a></p>	

<b>12</b>	<b>武蔵村山市立歴史民俗資料館</b>	武蔵村山の歴史・民俗・自然を狭山丘陵と武蔵野台地の開発などを通して紹介。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	第1月曜日、第3水曜日（祝日の場合は翌日）、12.28～1.3	入館料	無料	☎ 042-560-6620
<ul style="list-style-type: none"> <li>●年中行事展「端午の節供」（4.14～5.6）</li> <li>●年中行事展「七夕飾り」（6.30～7.8）</li> <li>●夏休み子ども展示「伝承と妖怪」（7.21～9.9）</li> <li>●夏休み子ども体験教室（8月上旬）</li> </ul> ※くん蒸消毒による臨時休館（6.1～6.8） 展示会・催し物の詳細については、資料館ホームページ、市報等をご確認ください。 【URL】http://www.city.musashimurayama.lg.jp/shiryokan/index.html						

<b>13</b>	<b>立川市歴史民俗資料館</b>	立川の歴史や文化、自然風土を展示紹介。市内幸町には茅葺き屋根の川越道緑地古民家園もあります。				
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日（月曜祝日の場合は翌日）12.29～1.3	入館料	無料	☎ 042-525-0860
<ul style="list-style-type: none"> <li>●常設展示 原始から近現代の立川の歴史、自然、くらしと道具に関する資料を紹介しています。</li> <li>●ミニ企画展「端午の節句」（4.10～5.13） 市民の方から寄贈された五月人形を、立川市歴史民俗資料館と川越道緑地古民家園で展示します。</li> <li>●企画展「新収蔵品展」（6.12～7.8） 平成29年度に新たに寄贈された資料の一部を展示します。</li> <li>●ミニ企画展「七夕飾り」（7.3～7.8）季節に合わせた七夕飾りを展示します。</li> <li>●企画展「立川の遺跡2018」（7.24～9.2）平成29年度に市内で出土した資料などを展示します。</li> <li>●写真展「立川駅前の変遷（仮）」（9.8～10.14）博物館実習生による企画展です。立川駅前の変遷を写真で紹介します。 【URL】http://www.city.tachikawa.lg.jp/shogaigakushu/kosodate/kyoiku/iinkai/shiryokan/rekishiminzoku/index.html</li> </ul>						

<b>14</b>	<b>日野市郷土資料館</b>	日野の歴史・民俗・自然、幅広い分野の調査研究事業を市民とともに展開中。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）12.29～1.3	入館料	無料	☎ 042-592-0981
<ul style="list-style-type: none"> <li>●『赤い鳥』100年記念「たきびの詩人巽聖歌と『赤い鳥』」（4.21～7.1）</li> <li>●企画展「どつき土器展～日野駅西側の低地に広がる遺跡から～」(7.7～9.30)</li> <li>●企画展「ひの宝モノ語り展～くらしの道具に光をあてる」(12.15～4.14)</li> <li>●特別展「日野の自然～鳥とともに～」市内3か所巡回展示 日野市郷土資料館（10.6～12.9）／平山図書館（12.22～3.3）／カワセミハウス（3.6～3.15） ※詳細についてはホームページをご参照ください。 【URL】https://hino-museum.jp</li> </ul>						

<b>15</b>	<b>首都大学東京 91 年館</b>	大学所蔵の学術標本・資料、最新の研究成果を展示。				
開館時間	11:00～17:00	休館日	土～月曜日、祝日、夏季・冬季・春季休業期間ほか（臨時休館あり）	入館料	無料	☎ 042-677-1111 内線 2041
<ul style="list-style-type: none"> <li>●常設展 本学内の7分野（動物系統分類学、植物系統分類学、地形・地質学、日本史学、考古学、社会人類学、芸術学）が保有する研究資料・標本類をご覧いただけます。首都大学東京の所在する東京・多摩地区に密着した研究成果から、世界各国の話題に至るまで、研究成果を親しみやすくご紹介しています。</li> <li>●その他の企画 ウェブサイト等でお知らせいたします。 【URL】http://www.comp.tmu.ac.jp/gakugei/index.html</li> </ul>						

<b>16</b>	<b>帝京大学総合博物館</b>	帝京大学が所蔵する貴重な資料や研究成果を紹介。				
開館時間	9:00～17:00 （入館は16:30まで）	休館日	日曜日・祝日・創立記念日・臨時休館日	入館料	無料	☎ 042-678-3675
<ul style="list-style-type: none"> <li>●収蔵資料展「アカデミックトレジャーズ - 帝京大学の貴重資料と先端研究 -」（1.27～5.26） 帝京大学が所蔵する貴重な学術資料や研究成果を厳選して紹介します。</li> <li>●企画展「帝京大学医真菌研究センター創設35周年記念「カビ展」- 医真菌研究への誘い -（仮）」（6.18～10.5） 帝京大学医真菌研究センターは、「みずむし」「気管支喘息」などカビ（真菌）が原因の病気と、その治療法について研究をしてきました。本展では真菌の生態や人との関わりを紹介すると共に、センターが開発した真菌症の治療薬、電子顕微鏡を用いた真菌の観察、宇宙空間でのカビの生態調査、食品の開発など幅広い最新研究を紹介します。 【URL】http://www.teikyo-u.ac.jp/introduction/tum/</li> </ul>						

<b>17</b>	<b>東大和市立郷土博物館</b>	東大和の歴史・民俗、狭山丘陵の自然を紹介。メガスターが映し出すプラネタリウムが評判。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 祝日の翌日、12.28～1.4	入館料	無料 （プラネタリウムは有料）	☎ 042-567-4800
<ul style="list-style-type: none"> <li>●プラネタリウム春番組「星と笛と月の物語」/ 特別番組「ハローアース」/ こども番組「ぼくたち惑星8兄弟」（3.17～6.10）</li> <li>●七夕投影（7.7・8）/ プラネタリウム夏番組（6.17～9.9）</li> <li>●収蔵資料展 vol.11「竹の民具」（～5.13） 博物館に収蔵されている“タケ”を使った民具を展示し、“人”と“タケ”のかかわりについて紹介します。</li> <li>●登録有形文化財 旧吉岡家住宅 春の公開（5.25～27）10時～16時</li> <li>●企画展示「吉岡堅二 素描展」（7.21～9.2）</li> <li>●企画展示「明治時代の東大和（仮）」（9.15～10.21）</li> <li>●旧日立航空機株式会社変電所一般公開（毎月第2日曜日）</li> <li>●その他各種講座を随時開催 【URL】http://www.city.higashiyamato.lg.jp/index.cfm/35,0,366,html</li> </ul>						

<b>18</b>	<b>東村山ふるさと歴史館</b>	「みち」をテーマに、東村山の歴史を紹介する。				
開館時間	9:30～17:00 （入館は16:30まで）	休館日	月・火曜日（祝日の場合は開館し、その翌日以降の平日が休館）	入館料	無料	☎ 042-396-3800
<ul style="list-style-type: none"> <li>●春の企画展「下宅部遺跡展 縄文の漆Ⅱ」（4.28～7.1） 下宅部遺跡からみた縄文時代の漆工技術について紹介いたします。付随事業：講演会「下宅部遺跡からみた縄文時代の漆工技術」（6.10）</li> <li>●夏休み対応展示「自由研究（仮）」（7.21～9.2）</li> <li>◆東村山ふるさと歴史館 【URL】https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishi/furusato/index.html</li> <li>◆八国山たいけんの里 東村山市野口町3-48-1 ☎042-390-2161 開館時間・休館日・入館料は上記ふるさと歴史館と同様。 【URL】https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishi/hachikokuyama/</li> </ul>						

<b>19</b>	<b>国立ハンセン病資料館</b>	ハンセン病に関する理解促進と偏見・差別・排除の解消を目指す。				
開館時間	9:30～16:30 （入館は16:00まで）	休館日	月曜および「国民の祝日」の翌日、年末年始、館内整理日	入館料	無料	☎ 042-396-2909
【URL】http://www.hansen-dis.jp/						

<b>20</b>	<b>くにたち郷土文化館</b>	国立の歴史、ハケの自然などを展示。すぐ近くには古民家も。				
開館時間	9:00～17:00 （入館は16:30まで）	休館日	第2、第4木曜日（祝日の場合は翌日）、12.29～1.3	入館料	無料	☎ 042-576-0211
<ul style="list-style-type: none"> <li>●春季企画展「関頑亭～谷保から国立へ～」(5.26～6.24) 国立市所蔵の関頑亭氏の作品を中心に紹介するとともに、頑亭氏の文化活動や全国の頑亭作品もパネルにて展示します。</li> <li>●「第22回 紙の工芸展」(8.18～9.9) 国立市内を中心に活動している方々による、「紙」を使った作品を展示します。開催期間中には、紙を使った作品を作ることが出来る体験教室を行います。 【URL】http://www.kuzaidan.com/province/</li> </ul>						

<b>21</b>	<b>たましん歴史・美術館</b>	多摩地域の作家の作品展示や、地域の歴史資料を公開。				
開館時間	10:00～18:00 （入館は17:30まで）	休館日	月曜日、祝日、年末年始	入館料	100円※中学生以下無料 関頑亭展 300円	☎ 042-574-1360
<ul style="list-style-type: none"> <li>●99歳の彫刻家・関頑亭展（～7.1） ギャラリートーク（4.13・21、5.18、6.2） 14:00～ ※（4.21・6.2）は小学3年生以上対象</li> <li>●おかげ美術館（7.17～9.9） ギャラリートーク（7.21）※未就学児対象、（7.28）※小学生1～3年生対象、（8.4）※小学生4～6年生対象、（8.25）※中学生対象 いずれも14:00～ 【URL】http://www.tamashin.or.jp/</li> </ul>						